

# 令和7年度 前沢明峰支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～快適な職場環境の整備「こまめに働き、こまめに経費・時間を節約し、こまめに気遣い、こまめにリフレッシュ」～

前沢明峰支援学校では「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

## 1 現 状

### 【定量的現状】

- ・4月の超過勤務が平均45時間以上の教職員の割合の推移  
22%(R5)→5%(R6)→**4.7%(R7)**
- ・1月当たりの超過勤務が45時間以上の教職員の割合の推移  
7.8%(R4)→6.5%(R5)→**4.6%(R6)**

※施錠時間の呼びかけにより、就業時間が意識されてきています。

### 【定性的現状】

- ・教職員アンケート「私は多忙化の解消や健康管理の取り組みをしている」に「そう思う」と回答した職員の割合の推移  
20%(R4)→25%(R5)→**19%(R6)**

※R6は「多忙化解消、健康管理の取組」を個々人が意識するようになったことが示されました。

## 2 目標・目指す姿

### 【学校独自の目標】

- ・1月当たりの超過勤務が45時間以上の教職員の割合0%を目指す。

### 【目指す姿】

- ・教職員が、児童生徒の指導について考え、授業の準備を行う時間を十分に確保できている。
- ・管理職が日頃から教職員とコミュニケーションをとり、健康や業務について相談できるよう気を配っている。
- ・日々の業務で「おかげさま、お互いさま、ありがとう」の心でお互いを気遣う明峰のお手伝い文化を促進する。

## 3 (2を推進していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	・管理職が、定時退庁に向け積極的に取り組みます。 ・健康管理への取組として、月の時間外在校時間が45時間超えとなった職員に声掛けします。
(2)	学校における業務改善の推進	・組織的な業務見直しを行い、時間内に業務処理ができるように取り組みます。 ・ワークシェアリングを実施することにより、業務の効率化を進めます。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	・会議時間の設定、資料の事前配布、議題の精選に努め、会議の効率化を図ります。 ・業務内容に優先順位をつけ、時間内で無理なく進めるようにします。
令和7年度 重点取組事項		・教職員の円滑なコミュニケーションを促進し、活気ある職場環境をつくります。月1回茶論(サロン)デー開催。 ・月2回の定時退庁日(ノー残業デー)を設け、ワークライフバランスに配慮した職場環境の実現を進めます。

## 4 アクションプランの周知方法

- ・職員会議等を通じて教職員に 働き方改革アクションプランを周知し、プランの内容を説明します。
- ・働き方改革プランを学校のホームページに掲載し、地域・保護者に公開します。